



I 第 32 週の発生動向 (2026/8/3~2026/8/9)

- 手足口病について、東津軽+青森市保健所管内、中南保健所管内、三戸+八戸市保健所管内、西北保健所管内及び上北保健所管内で**警報**が継続しています。特に乳幼児が集団生活をしている施設等では、流水・石けんによる手洗いを徹底し、タオルの共用を避け、排泄物等を適切に処理するなど感染予防に努めましょう。
- 日頃から手洗いや咳エチケット等の基本的な感染対策をお願いします。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

<感染症の窓>

今週のテーマは「細菌性赤痢」です。

最終ページに掲載しています。

II 第 32 週五類定点把握対象疾患

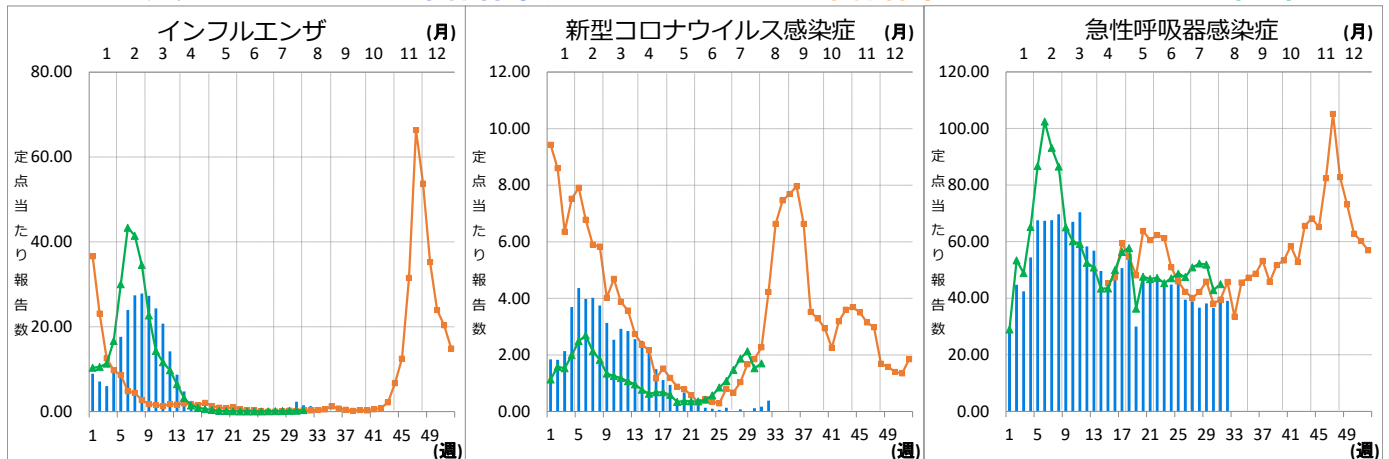
※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、**警報・注意報**については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東津軽+ 青森市保健所)		中南 (中南保健所)		三八 (三戸+ 八戸市保健所)		西北 (西北保健所)		上北 (上北保健所)		下北 (下北保健所)		青森県計		前週 からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ	22	2.00	25	2.50	1	0.10	16	2.67	3	0.33			67	1.29	-12
	新型コロナウイルス感染症	3	0.27	3	0.30	1	0.10	5	0.83	7	0.78	1	0.17	20	0.38	11
	急性呼吸器感染症	537	48.82	276	27.60	267	26.70	212	35.33	382	42.44	357	59.50	2031	39.06	-36
小児科	RSウイルス感染症	3	0.50	3	0.50									6	0.18	5
	咽頭結膜熱	2	0.33	2	0.33	2	0.29					1	0.25	7	0.21	2
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	1.17	2	0.33	5	0.71	1	0.20	1	0.17	1	0.25	17	0.50	5
	感染性胃腸炎	5	0.83	12	2.00	18	2.57	6	1.20			1	0.25	42	1.24	1
	水痘	1	0.17	1	0.17							1	0.25	3	0.09	-1
	手足口病	62	10.33	45	7.50	64	9.14	29	5.80	43	7.17	14	3.50	257	7.56	-70
	伝染性紅斑															0
	突発性発しん	1	0.17	3	0.50	8	1.14							12	0.35	-7
	ヘルパンギーナ	19	3.17	4	0.67	1	0.14	23	4.60	7	1.17	4	1.00	58	1.71	-5
	流行性耳下腺炎									1	0.17			1	0.03	-2
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎															0
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎											3	3.00	3	0.50	2
	無菌性髄膜炎															-1

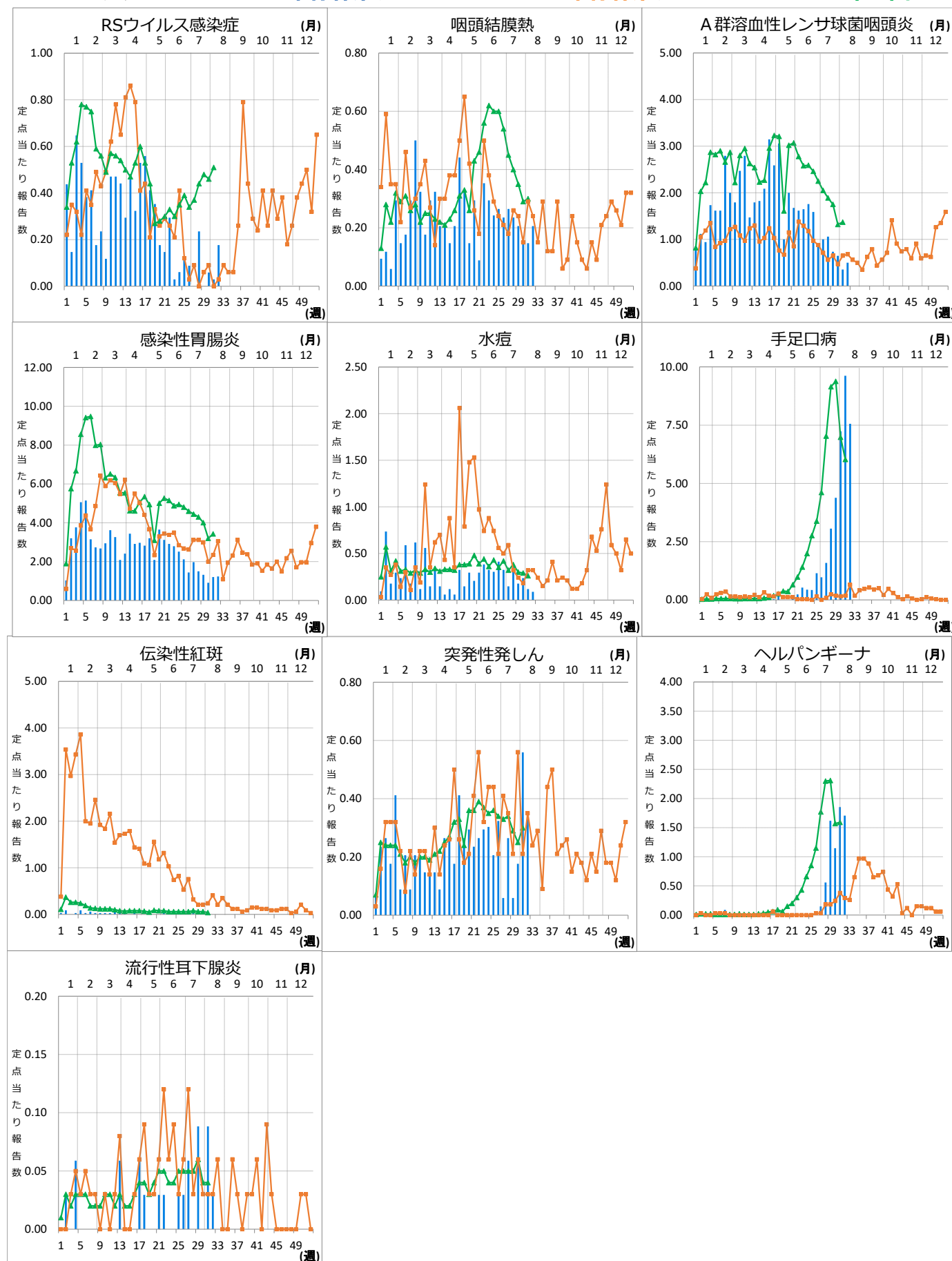
III 定点把握対象疾患週別推移 (急性呼吸器感染症定点) (2026 年第 32 週、ただし全国は前週)

グラフの説明 は 2026 年青森県、 は 2025 年青森県、 は 2026 年全国



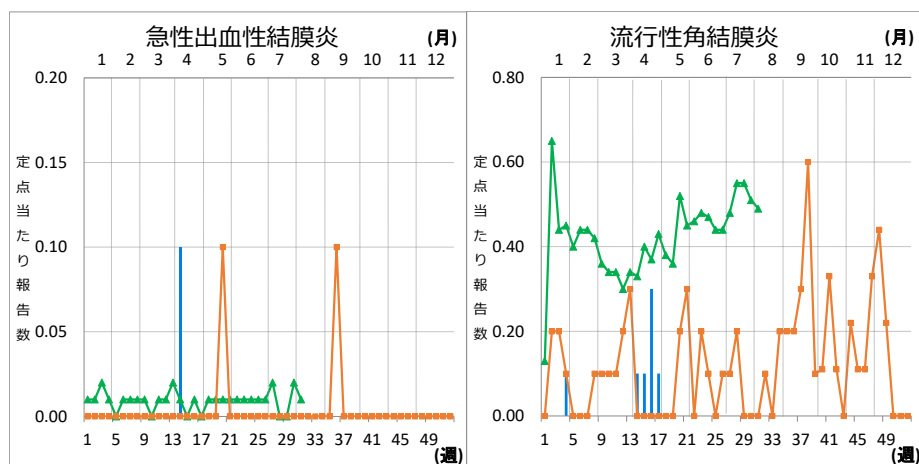
Ⅳ 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2026 年第 32 週、ただし全国は前週）

グラフの説明  は 2026 年青森県、 は 2025 年青森県、 は 2026 年全国



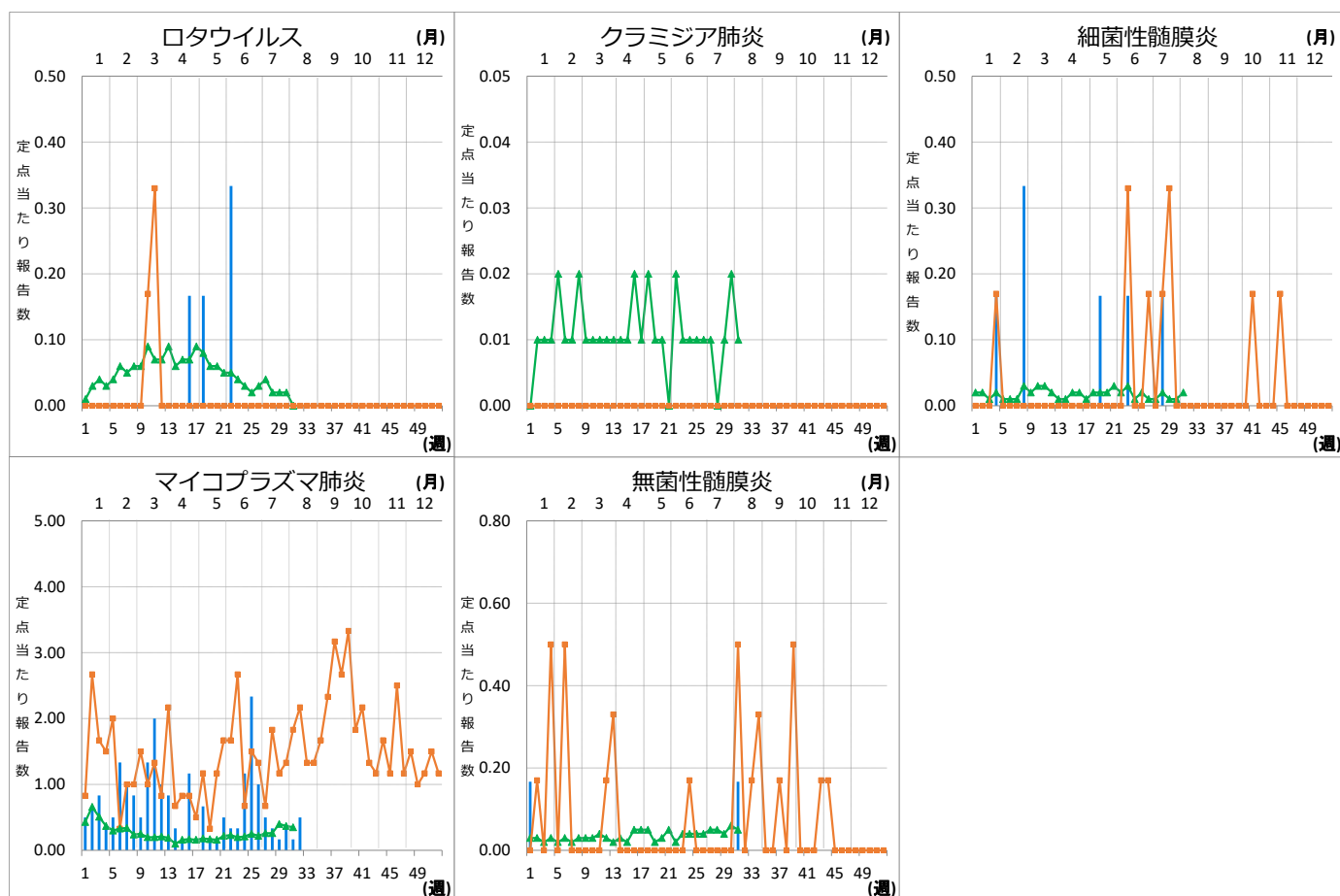
V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2026 年第 32 週、ただし全国は前週）

グラフの説明👉 —は 2026 年青森県、■—■は 2025 年青森県、▲—▲は 2026 年全国



VI 定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2026 年第 32 週、ただし全国は前週）

グラフの説明👉 —は 2026 年青森県、■—■は 2025 年青森県、▲—▲は 2026 年全国



Ⅶ 急性呼吸器感染症(ARI)病原体検出情報

(1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分 (2026 年第 25 週～32 週)

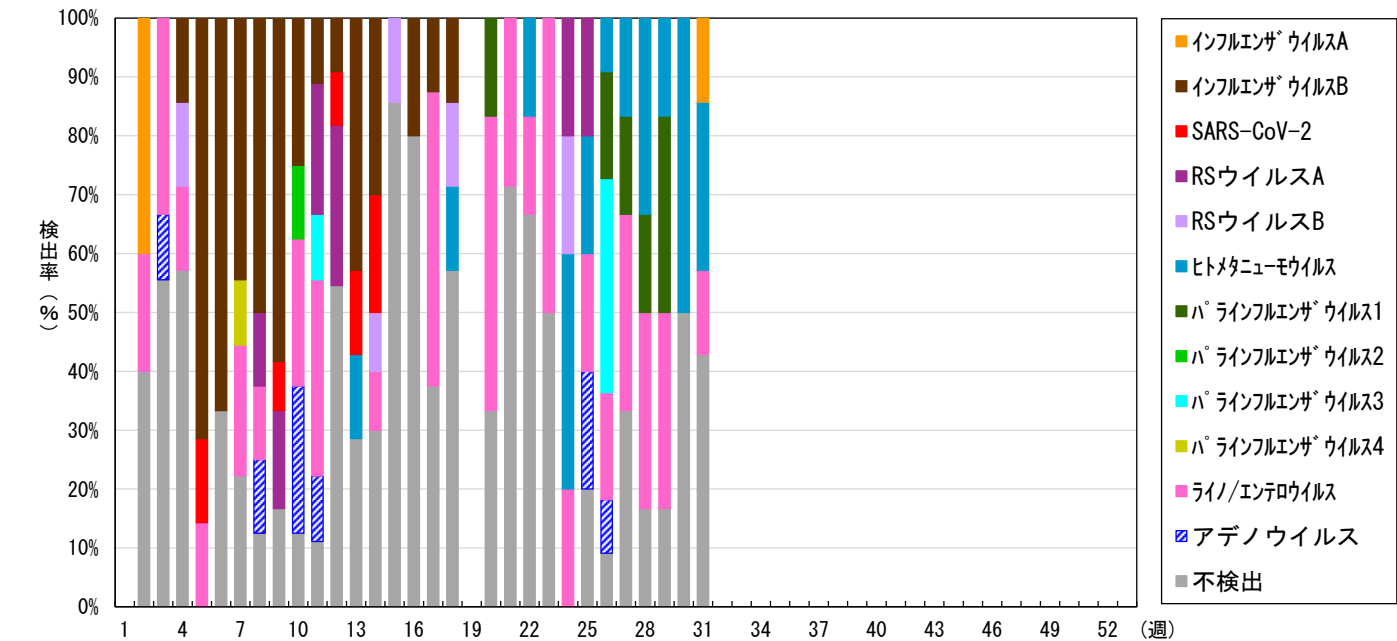
急性呼吸器感染症	2026年							
	25週	26週	27週	28週	29週	30週	31週	32週
提出検体数	5	8	6	5	5	6	8	5
インフルエンザウイルスA	0	0	0	0	0	0	1	
インフルエンザウイルスB	0	0	0	0	0	0	0	
SARS-CoV-2	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルスA	1	0	0	0	0	0	0	
RSウイルスB	0	0	0	0	0	0	0	
ヒトメタニューモウイルス	1	1	1	2	1	3	2	
パラインフルエンザウイルス1	0	2	1	1	2	0	0	
パラインフルエンザウイルス2	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス3	0	4	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス4	0	0	0	0	0	0	0	
ライノ/エンテロウイルス	1	2	2	2	2	0	1	
アデノウイルス	1	1	0	0	0	0	0	
不検出	1	1	2	1	1	3	3	
検査待ち	0	0	0	0	0	0	1	5

※第26週に採取された検体のうち、パラインフルエンザウイルス3及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが2検体、パラインフルエンザウイルス3及びヒトメタニューモウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

※第28週に採取された検体のうち、ヒトメタニューモウイルス及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

※第29週に採取された検体のうち、ヒトメタニューモウイルス及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

(2) 検出された病原体の週別推移 (2026 年第 1 週～31 週)



Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（第 32 週）

- ・結核（二類感染症）：青森市 1 人、中南 1 人、下北 1 人（2026 年計： 64 人）
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）：八戸市 2 人（2026 年計： 22 人）
- ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）：中南 1 人（2026 年計： 10 人）
- ・侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）：中南 1 人（2026 年計： 6 人）
- ・梅毒（五類感染症）：青森市 1 人（2026 年計： 13 人）

Ⅸ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2026 年第 29 週～2026 年第 32 週）

週	東青 （東津軽保健所+ 青森市保健所）	中南 （中南保健所）	三八 （三戸保健所+ 八戸市保健所）	西北 （西北保健所）	上北 （上北保健所）	下北 （下北保健所）
29	結核2人 梅毒1人	結核1人 腸管出血性大腸菌感 染症1人	結核1人			
30	結核1人 腸管出血性大腸菌感 染症1人	レジオネラ症1人 カルバペネム耐性腸 内細菌目細菌感染症 1人 百日咳1人	百日咳2人		腸管出血性大腸菌感 染症1人	
31	結核1人 腸管出血性大腸菌感 染症1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人 劇症型溶血性レンサ 球菌感染症1人			腸管出血性大腸菌感 染症1人	結核1人
32	結核1人 梅毒1人	結核1人 劇症型溶血性レンサ 球菌感染症1人 侵襲性インフルエン ザ菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感 染症2人			結核1人

第 31 週に中南保健所管内で劇症型溶血性レンサ球菌感染症の届出が 1 件ありましたので追記しました。

X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2026年第1週～第31週までの累計）										
分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокス症	エムポックス	オウム病
累積報告数	8601	42	1961	23	11	416	200	13	100	4
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症
累積報告数	4	5	118	1	3	61	49	260	2	1
分類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎
累積報告数	29	2	1	1447	4	296	128	591	16	297
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	多剤耐性緑膿菌感染症
累積報告数	5	93	791	565	25	345	38	1787	532	127
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症		
累積報告数	6828	102	59	52	3929	3	548	10		

青森県（2026年第1週～第32週までの累計）

分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	64	2	22	3	3	2	1	6	2	10
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	百日咳				
累積報告数	1	6	12	7	13	26				

XI 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅻ 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2026 年第 32 週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第32週	報告なし		

2026 年報告件数及び発症者数

月(週)		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月				9月	10月	11月	12月	計
施設種別		1-5週	6-9週	10-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27-31週	32週	33週	34週	35週	36-39週	40-44週	45-48週	49-52週	(施設別)
介護・老人福祉関係施設	件数	2	2	6	2	3	0	0	0								15
	発症者数	37	44	69	23	42	0	0	0								215
児童・婦人関係施設等	件数	4	0	1	3	4	1	0	0								13
	発症者数	92	0	30	73	63	10	0	0								268
障がい関係施設	件数	1	0	1	0	0	0	0	0								2
	発症者数	20	0	18	0	0	0	0	0								38
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0								0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0								0
計(月別)	件数	7	2	8	5	7	1	0	0	0							30
	発症者数	149	44	117	96	105	10	0	0	0							521

感染症の窓

細菌性赤痢は、赤痢菌に感染することによって起こる感染症です。世界中で広くみられる感染症で、特に衛生状態の悪い国に多くみられます。

赤痢菌に汚染された水、氷、食品などを摂取することにより感染しますが、非常に少ない菌量でも感染することから、食器や箸などを介して感染することもあります。

感染すると、1～3日の潜伏期間の後、下痢、発熱、腹痛などが起こり、血便や、しぶり腹（トイレにいった後でもすっきりせず、またトイレに行きたくなる状態）といった、赤痢に特徴的な症状を示すことがあります。

全国では概ね減少傾向にあり、青森県では例年0～3人の報告で推移しています。（図）

細菌性赤痢は輸入例が大半を占めることから、流行地域への渡航の際は、生水、氷、生野菜、カットフルーツなど加熱されていない食品の飲食は避けましょう。屋台のヨーグルト飲料や氷で感染した例も報告されていますので、不衛生な飲食店、屋台などでの飲食も避けましょう。また、トイレの後や食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。
📄 [細菌性赤痢（国立健康危機管理研究機構 HP）](#)



細菌性赤痢

